

博士課程前期課程

1. 前文

神戸大学大学院法学研究科法学政治学専攻は、開放的で国際性に富む文化の下、体系的な教育課程を通じ高度に専門的な法学・政治学の知識を提供することによって、法学・政治学の領域の研究者を養成すること、高度化・複雑化する現代社会において専門知識を用いて問題を解決する能力を持つ職業人を養成すること、急速に変化する社会において新しい問題に直面している社会人に対し継続教育を行うことを目的とする。

この目的の達成に向け、倫理観・責任感を持って研究を遂行できるよう、国際的に卓越した教育を提供し、それぞれのプログラムに関する以下の方針に従って、学位を授与する。

法学研究科博士課程前期課程には、研究者養成プログラム、高度社会人養成プログラム、グローバルマスタープログラム(GMAP)が置かれている。

本研究科が各プログラムに掲げている教育目的は次のとおりである。

1-1 研究者養成プログラム

日本内外の大学等の研究・教育機関において研究・教育に従事する、次世代の研究者を養成することを目的とする。

1-2 高度社会人養成プログラム

昨今の国内外社会の急速な情報化、高度化、流動化に伴い、社会における問題も多様化、複雑化していることを受けて、学部段階以上の法学・政治学の知識の会得、問題解決能力の涵養を目的とする。

1-3 グローバルマスタープログラム(GMAP: GMAP in Law)

国際ビジネスの世界では、専門知識に加えて、すべて英語で仕事をこなすことが求められる。このプログラムは、専門教育に加えて、英語での実務的能力を育成し、国際ビジネス法律家として社会で活躍できる人材の育成を目的とする。

2. 学位:修士(法学)

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科に2年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得すること。
ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間を短縮して修了することができる。
- ・各プログラムにおいて、修了までに次の能力を修得すること。

2-1 研究者養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、国内外の大学等の研究・教育機関

において法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としての以下の基礎的な能力を有する。

- ・社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力
- ・世界の法学・政治学分野の研究理解力
- ・法学・政治学分野の先進的な専門知識
- ・論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力

2-2 高度社会人養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、現代社会の変化によって生じている新たな法および政治上の問題に対する応用的・実地的・総合的な解決能力を有するとともに、学部段階よりも高度な法学・政治学の知識を有し、豊かな問題解決能力を有する。

以上の能力には、以下を含む。

- ・社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力
- ・世界の法学・政治学分野の研究理解力
- ・法学・政治学分野の先進的な専門知識
- ・論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力

2-3 グローバルマスタープログラム(GMAP)

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、国内外のビジネス界において英語で法律実務・ビジネス実務に従事する能力を有する。

以上の能力には、以下を含む。

- ・他の人と協働して課題解決にあたる能力と外国において現地の人と協働して実務につく能力
- ・法学の外国語文献の読解能力および英語での会話能力
- ・法学を中心とする先進的な専門知識
- ・論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力

3. 学位:修士(政治学)

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科に2年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得すること。
ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間を短縮して修了することができる。
- ・各プログラムにおいて、修了までに次の能力を修得すること。

3-1 研究者養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、国内外の大学等の研究・教育機関

において法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者としての以下の基礎的な能力を有する。

- ・社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力
- ・世界の法学・政治学分野の研究理解力
- ・法学・政治学分野の先進的な専門知識
- ・論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力

3-2 高度社会人養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、現代社会の変化によって生じている新たな法および政治上の問題に対する応用的・実地的・総合的な解決能力を有するとともに、学部段階よりも高度な法学・政治学の知識を有し、豊かな問題解決能力を有する。

以上の能力には、以下を含む。

- ・社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための能力
- ・世界の法学・政治学分野の研究理解力
- ・法学・政治学分野の先進的な専門知識
- ・論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する能力

博士課程後期課程

1. 前文

神戸大学大学院法学研究科法学政治学専攻は、開放的で国際性に富む文化の下、体系的な教育課程を通じ高度に専門的な法学・政治学の知識を提供することによって、法学・政治学の領域の研究者を養成すること、高度化・複雑化する現代社会において専門知識を用いて問題を解決する能力を持つ職業人を養成すること、急速に変化する社会において新しい問題に直面している社会人・職業法曹に対し継続教育を行うことを目的とする。

この目的の達成に向け、倫理観・責任感を持って研究を遂行できるよう、国際的に卓越した教育を提供し、それぞれのプログラムに関する以下の方針に従って、学位を授与する。

法学研究科博士課程後期課程には、研究者養成プログラム、高度社会人養成プログラム、高度専門法曹養成プログラムが置かれている。

本研究科が各プログラムに掲げている教育目的は次のとおりである。

研究者養成プログラム

前期課程又は専門職学位課程修了後に、各専攻領域において対象を更に深化させる研究及び総合的な法学・政治学の知識、問題解決能力を学生に伝える教育を行い得る能力の養成を行う。

高度社会人養成プログラム

前期課程又は専門職学位課程において行った研究や学修を踏まえて、高度化・多様化す

る社会における法学・政治学上の諸問題を主体的に解決し得る能力の育成を行う。

高度専門法曹養成プログラム

弁護士等を対象とし、実務家教員及び研究科教員による授業と論文指導を通じ、高度の実務的専門性を体系的に身に付け国際的競争力のある法律家を養成することを目的とする。

2. 学位:博士(法学)

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科に3年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得すること。
ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間を短縮して修了することができる。
- ・各プログラムにおいて、修了までに次の能力を修得すること。

2-1 研究者養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、法学・政治学の各専攻領域において研究をさらに深化させ、法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者として、より高度な能力を有する。

以上の能力には、以下を含む。

- ・社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力
- ・世界の法学・政治学分野の研究理解力
- ・法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識
- ・論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力

2-2 高度社会人養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、高度化・多様化する社会における法学・政治学上の諸問題に対応しうる、より高度な問題解決能力を有する。

以上の能力には、以下を含む。

- ・社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力
- ・世界の法学・政治学分野の研究理解力
- ・法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識
- ・論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力

2-3 高度専門法曹養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、極めて専門的・先端的な法分野で活躍できる法律家としての高い能力を有する。

以上の能力には、以下を含む。

- ・人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力
- ・世界の法学分野の研究理解力
- ・高度専門法曹にとって必要な極めて専門的・先端的な知識
- ・論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力

2. 学位:博士(政治学)

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、法学研究科は以下に示した方針に従って当該学位を授与する。

- ・本研究科に3年以上在学し、履修要件として定めた所定の単位以上を修得すること。
ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間を短縮して修了することができる。
- ・各プログラムにおいて、修了までに次の能力を修得すること。

3-1 研究者養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、法学・政治学の各専攻領域において研究をさらに深化させ、法学・政治学の諸分野の研究・教育に従事する者として、より高度な能力を有する。

以上の能力には、以下を含む。

- ・社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力
- ・世界の法学・政治学分野の研究理解力
- ・法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識
- ・論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力

3-2 高度社会人養成プログラム

神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、高度化・多様化する社会における法学・政治学上の諸問題に対応しうる、より高度な問題解決能力を有する。

以上の能力には、以下を含む。

- ・社会科学を通じて人間社会が抱える諸問題を把握し、解決するための高度な能力
- ・世界の法学・政治学分野の研究理解力
- ・法学・政治学分野の先進的かつ高度な専門知識
- ・論理的かつ複眼的に思考し、問題を解決する高度な能力

専門職学位課程

現在のわが国における職業法曹教育においては、量的拡大と質的向上の両面が求められている。特に、社会の多様化、高度技術化、国際化、および、市場化が進む中で、わが国の社会は、質的に高い能力を有する多数の職業法曹を必要としている。そのため、神戸大学大学院実務法律専攻は、以下に述べるような2つの教育上の理念・目的を掲げる。

第1の目的は、すべての法曹に必要な基本的な知識と豊かな応用能力を有する職業法曹を養成することである。法曹が専門職業人である以上、そこに共通に必要とされる膨大な知識があることは当然であり、本学法科大学院においては、そのような知識を十分に有していることを前提として、さらに、その有する知識を多様な現実社会において妥当させる豊かな応用力のある職業法曹を養成することを目的とする。

第2の目的は、上記のような基本的な法領域に関する知識に加えて、ビジネス・ローと呼ばれる広義の企業取引に関わる先端的分野について、特に深い知識と応用能力を有する職業法曹を養成することである。社会の高度技術化、市場化が進む中で、各種の経済取引は複雑化し、それをめぐる法的紛争も必然的に非常に複雑かつ高度なものとなっている。本学法科大学院は、多岐にわたる法分野で充実した教育を提供し、このような法的紛争に対応しうる人材の育成を行うことを目的とする。

これらの目的の達成に向け、高度な専門能力・知識を身につけられるよう、先端的研究に裏打ちされた、国際的に卓越した教育を保証し、以下に示す方針にしたがって法務博士の学位を授与する。

学位:法務博士(専門職)

神戸大学のディプロマ・ポリシーにもとづき、また、社会の多様化、高度技術化、国際化、および、市場化が進む中で、わが国の社会は、質的に高い能力を有する多くの職業法曹を必要としていることを踏まえ、法学研究科実務法律専攻は以下に示す方針にしたがって当該学位を授与する。

- ・法学研究科専門職学位課程に所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得すること。
- ・神戸大学のディプロマ・ポリシーに定める能力に加え、職業法曹を目指す者として、修了までに次の学習目標を達成すること。
 - ・すべての法曹に必要な基本的な知識およびこれを基盤とした応用能力を有する。
 - ・ビジネス・ローを中心とした先端的法分野についての知識およびこれを基盤とした応用能力を有する。
 - ・法曹として求められる高い倫理感を有する。
 - ・新たな問題事象に対して、これまでの法的思考を継承しながらも、それを批判的・創造的に発展させて問題を解決する能力を有する。
 - ・多様な考え方や異なる文化の存在を踏まえ、社会の多元性を尊重して問題を解決する能力を有する。